

学校だより

令和元年7月18日
7月号

Global education

渋谷区立 原宿外苑中学校

校長 大友 文敬

教育目標 自主 共生 健康

<https://www.fureai-cloud.jp/haragai>

充実した夏休みに向けて

今年はなかなか梅雨が明けず、東京は記録的な日照不足になっていて、16日の時点で、日照時間が20日連続で3時間未満になっています。これは1961年からの統計史上初めてのことです。日照時間が少ないと農作物への影響だけでなく、ビタミンDの不足や、セロトニンの分泌にも影響が出てくるようです。夏らしい日差しが待ち遠しいところです。気温も低い日が続き、体が暑さに慣れていないことが考えられます。梅雨明けとなると急に暑くなり、湿度も高くなってきます。熱中症の対策に気を付けて、充実した夏休みを過ごせるようにしてほしいものです。

さて、夏季休業を前に、各自が、前期前半を振り返り、前期後半に向けた課題を考え、それに向けた準備しておくことが大切です。夏休みを有意義に使ってほしいと思います。

今年は41日の夏季休業となります。生徒の皆さんはどのような体験を計画しているのでしょうか。それぞれが、夏休みのこの時期しかできない、こんな体験・経験をした、と言えるものにしてほしいと思います。全員が心も体も健康で、8月30日を迎えることを願っています。熱中症や事故等には十分に気を付けて過ごしてください。

社会を明るくする運動 7/6日(土)

今年度も、本校から2学年の松友 莉紗子さんと、高野 桜大君の2名が「中学生意見発表」をしました。自己の体験や社会で起きている出来事から皆で助け合い、明るい社会にするために自分たちがどのように考え、行動に移していくべきかを発表してくれました。また、地域の方からも好評の吹奏楽部も素晴らしい演奏を聞かせてくれました。



松友さんは、少年院の矯正展でお母さんが購入した踏み台をとおした母とのやり取りから、様々な人がいて、様々な意見があること。そし



て他の意見を受け入れる大切さを感じる事が、互いに助け合い生きていくための1歩であることの大切さを伝えてくれました。

加害者の更生ということを考えた時、周囲の冷静な態度の大切さにも触れていました。社会を明るくしていくために、改めて、皆で助け合い、知恵を出し合っていくことの大切を示してくれました。

高野くんは、最近起きた痛ましい事件の被害者と年齢が近い自分の弟を重ね合わせ、心を痛め、いじめを減らすことが、犯罪をなくしていくことにもつながると考えました。自己の経験から、家族などの相談できる人がいたことによって助けられたことを話してくれました。そのような経験から、周囲に困っている人がいたら、相談に乗り力になってあげたいと伝えてくれました。そして、互いの気持ちを尊重しあうことの大切さを学び、周囲にそのことを伝え、行動に移していきたいということを示してくれました。



生徒が、自分の事として捉え、広い視野で自分の考えや具体的な行動について考えていることを頼もしく感じました。人間関係の構築で大切な、互いに助け合い、思いやる心の大切さを改めて示してくれました。

薬物乱用防止教室 7/12日(金)

1学年が、薬剤師の方を講師としてお招きして、薬物乱用の有害性・危険性を学びました。断る勇気を持ち、自分を大切にすることを考えていくことが重要です。



学校閉庁日 8月13日(火)~15日(木)

今年度も夏季休業中の学校閉庁日を3日間実施いたします。この期間は教員が勤務しておりません。ご理解のほどお願いします。